

平成12年 地域児童福祉事業等調査報告（抜粋）

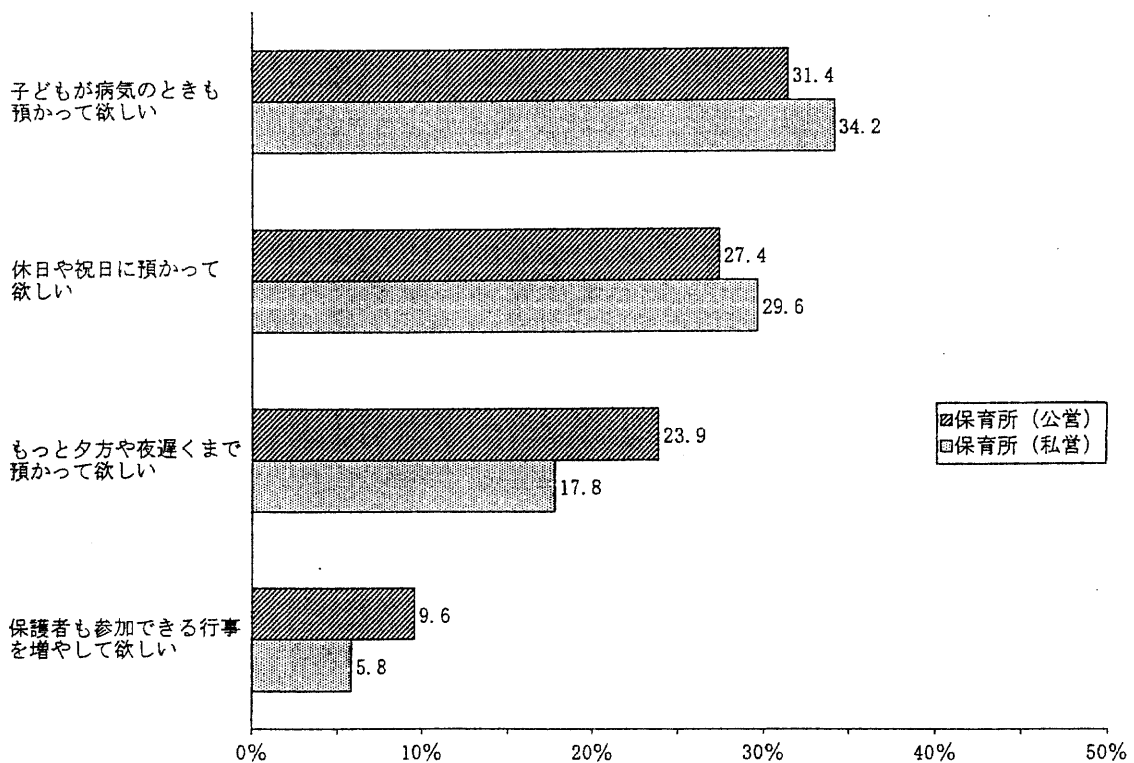
－ 厚生労働省大臣官房統計情報部 －

保育所サービスに関する要望は、「子どもが病気の時も預かって欲しい」が多い  
 保育所利用世帯の今後の保育所サービスに関する要望をみると、「子どもが病気の時も預かって欲しい」、「休日や祝日に預かって欲しい」では、保育所（私営）の割合が保育所（公営）より多くなっているが、「もっと夕方や夜遅くまで預かって欲しい」、「保護者も参加できる行事を増やして欲しい」では、保育所（公営）の割合が保育所（私営）より多くなっている。

（図5）

図5 保育所サービスに関する要望（複数回答）

平成12年



※ 調査対象：全国の保育所を利用する 15,683 世帯を対象

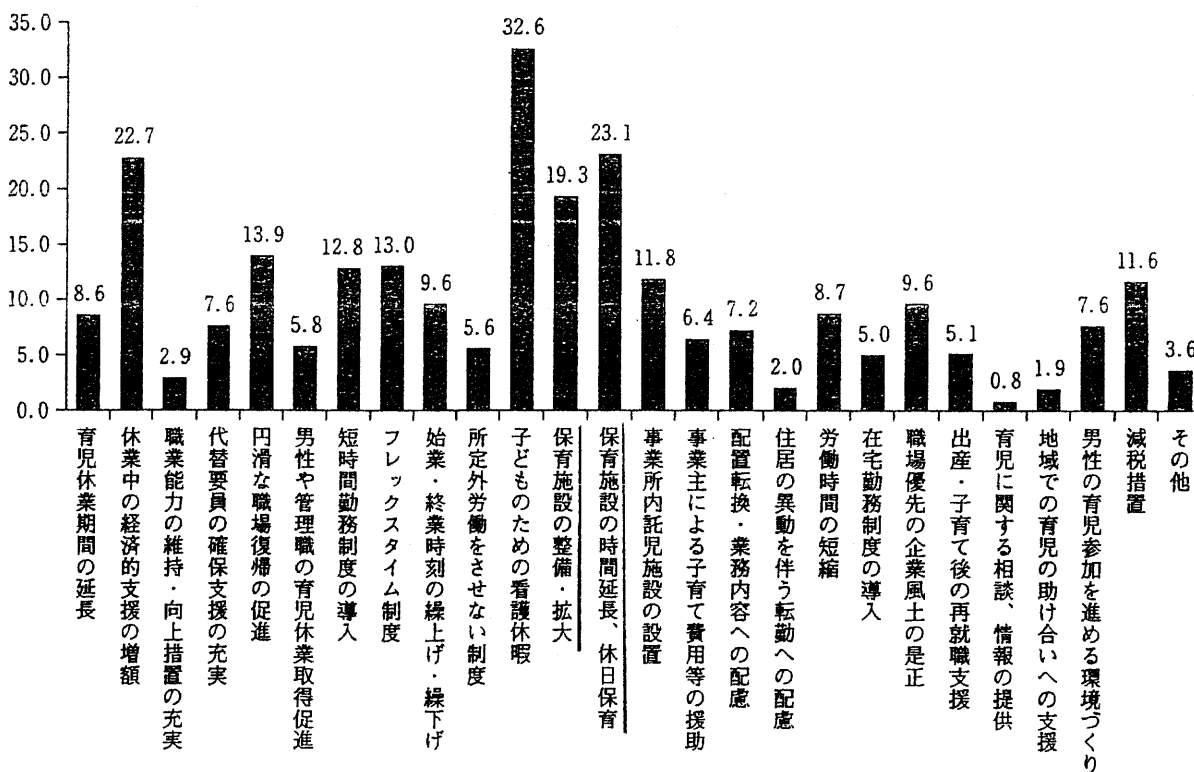
育児・介護を行う労働者の生活と就業の実態等に関する調査結果報告書（抜粋）

－ 財団法人 女性労働協会（平成12年8月）－

仕事と育児を両立するために必要と思う対策（M.A.）

末子が小学校入学前の者に、仕事と育児を両立するために必要と思う対策について挙げてもらったところ、「子どもの看護のための休暇制度の導入」が32.6%で最も多くなっている。続いて「保育施設の時間延長、休日保育」が23.1%、「(育児)休業中の経済的支援の増額」が22.7%、「保育施設の整備、拡充」が19.3%となっている。また、「育児休業後の円滑な職場復帰の促進」、「フレックスタイム制の導入」、「短時間勤務制度の導入」、「事業所内託児施設の設置」、「子どものいる家庭のための減税措置」についてもそれぞれ1割を超える者が必要と思うとしている。（図7、表37）

図7 仕事と育児を両立するために必要と思う対策（末子が小学校入学前の場合）（M.A.）



※ 調査対象： 東京・大阪・名古屋の各証券取引所の一部、二部に上場する企業に勤務する末子が小学校入学前の子を養育する正規従業員である女性労働者を対象

相模原市子育て支援に関する実態調査報告書（抜粋）

－平成13年3月－

認可保育所への要望

認可保育所への要望についてみると、「病気のときも預かってほしい」と回答した人が最も多く30.1%おり、次いで「その他」（15.0%）、「延長保育を実施してほしい」（14.0%）、「休日も預かってほしい」（13.2%）、「子どもに勉強を教えてほしい」（8.8%）の順になっている。

母親の就労状況別にみると、パート・アルバイトは「病気のときも預かってほしい」と回答した人がやや多く34.9%となっている。

また、自営業・家族従業・内職では「休日も預かってほしい」（21.5%）と回答した人が多い。

■ 認可保育所への要望

	件数	ほ し い	ほ し い	休 日 も 預 か っ て ほ し い	い 翌 朝 ま で 預 か っ て ほ し い	ほ し い	ほ し い	ほ し い	ほ し い	ほ し い	ほ し い	ほ し い	ほ し い	無 回 答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全体 【母親の就労状況】	283	1.8	14.0	13.2	-	30.1	4.4	8.8	5.6	0.8	0.2	15.0	6.0	
正社員・職員	146	2.3	14.9	8.5	-	33.3	4.5	7.9	7.9	0.7	0.3	14.4	5.3	
パート・アルバイト	73	-	9.9	14.4	-	34.9	1.6	10.2	2.3	1.1	-	18.7	7.0	
自営業・家族従業・内職	39	-	15.6	21.5	-	18.1	8.9	8.6	4.4	-	-	13.7	9.1	

※ 調査対象：市内に在住する就学前児童（平成12年4月2日）の保護者2,500人を対象